

令和4年度 事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

1 概況

令和4年度は、コロナ禍からの脱却に向けた社会経済活動の活性化が進む一方で、エネルギー等の価格高騰が多くの中小企業の経営環境を一段と厳しいものにした。そのような状況のなか、経営基盤である会員数は年度末で88,455人となり、制度発足以来48期で歴代2番目となる期末会員数となった。

公益目的事業である退職金共済事業については、遵守すべき財務3基準に適合した決算となっており、適正な事業執行を行った。

福利共済事業については、コロナ感染対策を徹底した事業運営に取り組み、オンライン型サービスの継続や事業の一部開催形態変更を図るなど、臨機応変な事業執行に努めた。事業全体の利用者数はコロナ禍前の水準に戻りつつあり、前年度から66,610人増加する結果となった。

2 会員数、企業数

加入会員数は、前年度より343人増の11,168人となり、10期連続で1万人の大台を達成した。

一方、退会会員数は、前年度より1,005人増の10,539人となり、3年振りに1万人を超えた。

この結果、期末会員数は前年度から629人増の88,455人となり、当初計画を下回ったものの、11期連続の純増を達成するとともに、制度発足以来48期で歴代2番目の期末会員数となった。

加入企業数は、前年度から54社増の331社とコロナ禍前と同水準まで回復したが、退会企業数は廃業や経費削減により前年度から80社の大幅増で344社となった。

この結果、期末企業数は前年度から13社減の8,794社となり、2期ぶりに純減となった。

加入・退会実績

【会員数】

(単位：人)

年度	期首会員数 (A)	加入会員数 (B)	退会会員数 (C)	期末会員数 (A)+(B)-(C)	対前年増△減	対前年比 (%)
平成30年度	82,148	11,562	10,047	83,663	1,515	101.8
令和元年度	83,663	12,177	10,260	85,580	1,917	102.3
令和2年度	85,580	10,930	9,975	86,535	955	101.1
令和3年度	86,535	10,825	9,534	87,826	1,291	101.5
令和4年度	87,826	11,168	10,539	88,455	629	100.7

【会員企業数】

(単位：社)

年度	期首企業数 (A)	加入企業数 (B)	退会企業数 (C)	期末企業数 (A)+(B)-(C)	対前年増△減	対前年比 (%)
平成30年度	8,827	381	348	8,860	33	100.4
令和元年度	8,860	331	363	8,828	△32	99.6
令和2年度	8,828	275	309	8,794	△34	99.6
令和3年度	8,794	277	264	8,807	13	101.1
令和4年度	8,807	331	344	8,794	△13	99.9

3 事業概要

(1) 当財団の事業体系

区分	事業名	
公益目的事業	特定退職金共済事業	
その他の事業 (相互扶助等事業)	事業主年金等共済事業	
	福利共済事業	① 余暇活動支援事業 ② 健康維持管理増進支援事業 ③ 自己啓発及び研修・表彰支援事業 ④ 生活安定支援事業 ⑤ 慶弔金贈呈事業 ⑥ 加入促進活動及び情報提供事業

(2) 特定退職金共済事業

中小企業勤労者の退職後の生活基盤安定のため、所得税法施行令第73条に基づく「特定退職金共済団体」として、公益目的事業である特定退職金共済事業を実施した。令和4年度は給付水準を維持し、加算給付を実施した。

引き続き、給付水準の維持と積立金の安全堅実な運用に努める。

ア 退職掛金受入状況

区分	令和4年度	令和3年度	対前年比
平均退職掛金月額	3,976 円	3,977 円	99.9%
退職掛金額	3,790,850,800 円	3,758,676,000 円	100.9%

イ 退職給付金支給状況

区分	令和4年度	令和3年度	対前年比
退職給付金支給者数	9,539 人	8,572 人	111.3%
退職給付金額	3,311,594,480 円	3,135,028,355 円	105.6%
平均退職給付金額	347,164 円	365,729 円	94.9%

ウ 運用利回りの状況

区分	令和4年度	令和3年度
総利回り	0.84%	0.85%
実質利回り	0.62%	0.63%

※総利回り…予定利息と基本配当金の積立金平均残高に対する利回り。

※実質利回り…総利回りから事務経費分を控除した利回り。

エ 配当額等の状況

区分	令和4年度	令和3年度	対前年比
配当額	21,061,672 円	23,952,823 円	87.9%
配当率	0.06%	0.07%	-

オ 期末退職給付積立金状況

区分	令和4年度	令和3年度	対前年増△減	対前年比
積立金の決算額	37,990,656,371 円	37,348,287,533 円	642,368,838 円	101.7%

カ 留保率 101.11%

※留保率…令和5年3月31日現在における要支給額（退職給付金の支払いに必要な額）に対する積立金の割合。

キ 運用委託状況(令和4年度末)

生命保険会社名	退職給付積立金額	委託割合
大同生命	18,163,332,810 円	47.81%
住友生命	3,886,444,147 円	10.23%
第一生命	3,802,864,703 円	10.01%
明治安田生命	4,023,210,510 円	10.59%
富国生命	4,802,018,965 円	12.64%
太陽生命	1,322,074,842 円	3.48%
日本生命	239,341,135 円	0.63%
アクサ生命	1,751,369,259 円	4.61%
合計	37,990,656,371 円	100.00%

ク 予定利率 0.77%

※予定利率…令和4年7月1日(保険契約応答日)時点の運用委託先生命保険会社の委託割合による加重平均の運用利回り。

(3) 事業主年金等共済事業

法人の代表者と役員、及び個人事業主等のための退職金制度を独自の共済制度として、事業主年金等共済事業を実施した。令和4年度は給付水準を維持し、配当を実施した。

引き続き、給付水準の維持と積立金の安全堅実な運用に努める。

ア 退職掛金受入状況

区 分	令和4年度	令和3年度	対前年比
平均退職掛金月額	10,785 円	10,895 円	99.0%
退職掛金額	1,162,461,600 円	1,186,643,400 円	98.0%

イ 退職給付金支給状況

区 分	令和4年度	令和3年度	対前年比
退職給付金支給者数	689 人	655 人	105.2%
退職給付金額	1,100,841,964 円	972,416,674 円	113.2%
平均退職給付金額	1,597,739 円	1,484,606 円	107.6%

ウ 運用利回りの状況

区 分	令和4年度	令和3年度
総利回り	1.24%	1.29%
実質利回り	0.94%	0.99%

※総利回り…予定利息と基本配当金の積立金平均残高に対する利回り。

※実質利回り…総利回りから事務経費分を控除した利回り。

エ 配当額等の状況

区 分	令和4年度	令和3年度	対前年比
配当額	11,011,561 円	16,996,304 円	64.8%
配当率	0.09%	0.15%	-

オ 期末退職給付積立金状況

区 分	令和4年度	令和3年度	対前年増△減	対前年比
積立金の決算額	12,100,514,317 円	11,946,944,277 円	153,570,040 円	101.3%

カ 留保率 100.00%

※留保率…令和5年3月31日現在における要支給額（退職給付金の支払いに必要な額）に対する積立金の割合。

キ 運用委託状況(令和4年度末)

生命保険会社名	退職給付積立金額	委託割合
大同生命	2,564,098,983 円	21.19%
住友生命	1,165,279,529 円	9.63%
第一生命	1,373,408,375 円	11.35%
明治安田生命	1,277,814,312 円	10.56%
富国生命	1,369,778,221 円	11.32%
太陽生命	1,712,222,776 円	14.15%
日本生命	2,525,377,338 円	20.87%
アクサ生命	112,534,783 円	0.93%
合 計	12,100,514,317 円	100.00%

ク 予定利率 1.14%

※予定利率…令和4年7月1日(保険契約応答日)時点の運用委託先生命保険会社の委託割合による加重平均の運用利回り。

(4) 福利共済事業

会員と家族の余暇活動の充実、健康維持増進等を目的に自主事業及び助成事業並びに慶弔金贈呈事業を実施した。

これらの事業(下記ア～オ)を利用した人数は、前年度より66,610人(26.5%)増の317,544人となり、コロナ禍前*の水準に近づきつつある。

受取福利会費は、会員数増加に伴い前年度より約323万円増の約6億3,322万円となり、このうち約93.7%にあたる約5億9,335万円を福利共済事業費として執行した。

【延べ利用者数】

令和4年度	令和3年度	対前年増△減
317,544人	250,934人	66,610人(126.5%)

※参考…令和元年度(コロナ禍前):382,125人

ア 余暇活動支援事業

自主事業については、予定していた事業を執行することができ、集合型の事業においてもコロナ禍の影響を最小限に留めることができた。また、新しい取組としてe-スポーツ大会を実施した。

一方で、従前まで人気のあった事業でも参加人数が伸び悩むなど、会員の需要に変化が生じている。

助成事業については、コロナ禍以前の参加人数には及ばないものの、昨年度よりも順調な伸展が見られた。特に「ローチケbiz+(ローチケビズプラス)」は、前年度に引き続き会員への浸透が進み、利用者数も23,742人まで伸展した。

全体の参加人数は前年度から48,517人増加し、助成事業を中心に躍進した。

【参加人数】

令和4年度	令和3年度	対前年増△減
199,079人	150,562人	48,517人(132.2%)

※参考…令和元年度(コロナ禍前):258,862人

【事業内訳】

区分	事業名	実施時期	参加人数
自主事業	《映画・演芸会・クラシックコンサート》		人
	写真教室	11月	12
	年忘れ演芸会	12月	1,164
	ニューイヤークラシックコンサート	1月	1,279
	映画鑑賞会	2月	408
	e-スポーツ大会(ゲームタイトル:ぷよぷよeスポーツ)	3月	11
	《レクリエーション》		
	会員向けレクリエーション事業(イベント)	9月・2月	55
遊園地特別助成・東京ディズニーリゾートコーポレートプログラム	7~10月	8,896	
日帰りバスツアー		98	
	小計		11,923
助成事業	UQ-JTB、じゃらんコーポレートサービス(旅行・宿泊)	通年	1,675
	円山動物園他道内のレク・娯楽施設入園	//	147,736
	スポーツ観戦(コソサレ・ファイトス・レバンガ)	//	1,803
	映画館入場	//	1,456
	音楽会・美術展入場	//	10,744
	ローチケbiz+	//	23,742
	小計		187,156

イ 健康維持管理増進支援事業

健康維持管理事業として人間ドック、健康診断、インフルエンザ予防接種の受診、接種料金助成などの事業を実施し、健康増進支援事業として各種スポーツ大会の開催や市営体育館、スキーリフト等への利用料金助成事業を実施した。

① 健康管理

一般より低廉な費用で健康診断を受けられるよう、29カ所の医療機関と助成契約を締結し、健診料の一部を会員に助成した。

令和4年度はインフルエンザ予防接種助成の方式を変更し、医療機関（全国どここの施設でも可）での接種後に助成額の還付を申請する「事後還付方式」を導入した。施設の選択肢が大幅に増えた結果、助成利用者は前年度より2倍以上増加し、12,638人（225%）となった。

さらに、少量採血による複数部位のがんリスク検査が可能な「メタロバランス」を新たな検診助成メニューとして加え、約180名の利用があった。

【参加人数】

令和4年度	令和3年度	対前年増△減
27,869人	19,856人	8,013人（140.4%）

※参考…令和元年度（コロナ禍前）：18,422人

【事業内訳】

区分	事業名	実施時期	参加人数
助成事業	定期健康診断、健康度測定	通年	11,759人
	人間ドック（1泊2日・日帰り・パブリック）	〃	1,706
	部位ドック（心臓・脳・大動脈血管）	〃	71
	がん検診（大腸・肺・乳・子宮・PET・メタロバランス検査）	〃	655
	インフルエンザ予防接種	10月～1月	12,638
	家庭常備薬あっせん（送料無料）	4月・10月	1,040
	合計		27,869

② 健康増進

一般より低廉な料金で市内外のスポーツ施設・健康施設を利用できるよう料金の一部を助成した。自主事業についてはこれまで中止傾向が続いていた集合型のスポーツ大会を次頁のとおり実施した。

助成事業については、市営体育館等の利用を中心に、利用者数が前年度よりも大幅に増加した。余暇活動支援事業と同様に、コロナ禍前の水準には及ばないものの、順調な伸展が見られた。なお、スキーリフト利用助成は、令和4年度も特別企画として助成額を増額のうえ実施した。

さらに、新しい取組として、札幌マラソン等のスポーツ大会における助成方法を変更し、参加後に参加料金を助成する「事後還付方式」を導入した。

全体の参加人数については、前年度より7,556人増の66,499人となった。

【参加人数】

令和4年度	令和3年度	対前年増△減
66,499人	58,943人	7,556人（112.8%）

※参考…令和元年度（コロナ禍前）：84,061人

【事業内訳】

区分	事業名	実施時期	参加人数
自主事業	《スポーツ大会》 パークゴルフスタンプラリー ゴルフ大会 ボウリング大会	6月～9月	人 232
		9月	55
		10月	64
		小計	351
助成事業	札幌マラソン、札幌国際スキーマラソン スキーリフト、スキーランチパック スケートリンク入場 スポーツクラブ利用 プール利用 市営体育館等利用（テニスコート利用含む） ボウリング場利用 ゴルフ場利用 パークゴルフ場利用	10月・2月	283
		12月～3月	19,458
		通年	142
		通年	17,119
		〃	9,644
		〃	12,987
		〃	2,989
		4月～11月	169
		〃	3,357
小計	66,148		

ウ 自己啓発及び研修・表彰支援事業

自主事業では、業界や企業の発展に貢献した事業主及び会員に、社業の発展、職務精励などの功績を称え記念品を贈呈した。

助成事業では、令和3年度に引き続きオンライン学習講座「Schoo（スクー）」を継続し、7,500本以上の講座を受講できる環境を整えた。

全体の参加人数は前年度より微増し1,068人となった。

【参加人数】

令和4年度	令和3年度	対前年増△減
1,068人	1,043人	25人(102.4%)

※参考…令和元年度（コロナ禍前）：834人

【事業内訳】

区分	事業名	実施時期	参加人数
自主事業	勤続(経営従事)功労記念品贈呈(30年・40年)	3月	人 458
助成事業	経営等セミナー 生涯学習講座 オンライン学習講座「Schoo」	通年	80
		〃	168
		〃	362
	小計		1,068

エ 生活安定支援事業

① 融資あっせん事業

令和2年度から新規受付を中止しており、既存融資済案件が全て完済された時点で当該事業を廃止する予定である（令和6年度を予定）。

② 割引指定店事業

JTBベネフィット社の「えらべる倶楽部ライフ」を継続利用し、会員証呈示により全国62,000件以上のメニュー（ショッピング、レジャー、日帰り温泉など）で様々な優待特典を受けられるサービスを提供した。

※ 同社と(株)ベネフィット・ワン社の合併に伴い、令和5年4月1日から新サービスとしてベネフィット・ワン社の「ベネフィット・ステーション」を提供。

オ 慶弔金贈呈事業

会員と家族の慶弔に際し、次の10項目の慶弔金を贈呈した。件数は23,029件、金額は315,395千円となり、前年度より件数比で2,499件(12.2%)増加、金額は33,475千円(11.9%)増加した。この要因については、傷病見舞金及び死亡弔慰金(義親死亡)の支給要件緩和によるものである。また、大雪等に起因する住宅の被害も増加し、災害見舞金の請求件数増加も顕著であった。

【贈呈内容】

項 目	令和4年度		令和3年度		対前年比	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
	件	千円	件	千円	%	%
① 二十歳祝金	133	665	146	730	91.1	91.1
② 結婚祝金	1,166	29,370	1,210	30,310	96.4	96.9
③ 出産祝金	1,560	31,200	1,691	33,820	92.3	92.3
④ 入学祝金	4,363	43,630	4,239	42,390	102.9	102.9
⑤ 永年勤続慰労金	8,952	89,430	8,364	87,625	107.0	102.1
⑥ 還暦祝金	1,523	15,230	1,432	14,320	106.4	106.4
⑦ 銀婚・金婚祝金	782	16,910	673	14,230	116.2	118.8
⑧ 傷病見舞金	1,750	35,000	794	15,880	220.4	220.4
⑨ 災害見舞金	41	550	9	130	455.6	423.1
⑩ 死亡弔慰金	2,759	53,410	1,972	42,485	139.9	125.7
合 計	23,029	315,395	20,530	281,920	112.2	111.9

【贈呈額】

項 目	金 額(1件)
① 二十歳祝金	5,000円
② 結婚祝金	加入年数3年未満 加入年数3年以上 20,000円 30,000円
③ 出産祝金	20,000円
④ 入学祝金	10,000円
⑤ 永年勤続慰労金	勤続5年 勤続10年 勤続15年 勤続20年 5,000円 10,000円 15,000円 20,000円
⑥ 還暦祝金	10,000円
⑦ 銀婚・金婚祝金	銀婚 金婚 20,000円 30,000円
⑧ 傷病見舞金	20,000円
⑨ 災害見舞金	損害程度に応じ3段階 10,000円 30,000円 50,000円
⑩ 死亡弔慰金	会員 会員の配偶者・子(養子を含む) 会員の親(養親を含む) 会員の配偶者の親(養親を含む)・会員の子の死産 50,000円 30,000円 20,000円 10,000円

カ 加入促進活動及び情報提供事業

加入促進活動は、未加入企業に対してダイレクトメールの発送とその後電話によるフォローを行う活動と、インターネット広告を実施した。また、会員企業に対しては未加入企業の紹介を依頼し、会員数の維持拡大を図った。

情報提供事業では、ホームページや Twitter、LINE を活用し、リアルタイムに事業の利便性や魅力を発信した。

【事業内訳】

項目	内容
加入促進活動	<ul style="list-style-type: none"> ① ダイレクトメール(5,728通)発送後、電話によるアフターフォロー並びに企業訪問 ② 既加入企業へ、未加入企業紹介の依頼 ③ 委託生命保険会社8社に対し加入促進の協力要請 ④ 税理士組合や金融機関とのビジネスマッチング ⑤ インターネット広告(Yahoo!、Google、Facebook、Instagram) ⑥ 地下鉄駅構内24駅24箇所に設置の「札幌市からのお知らせ」掲示板でのポスター掲示(年2回、各2週間程度) ⑦ 組合等新聞及び経済情報誌への広告掲載 ⑧ 経営者向けに無料オンライン講座視聴機会の提供
情報提供事業	<ul style="list-style-type: none"> ① LINE、Twitter を活用したリアルタイムな情報配信 ② 制度概要説明の動画配信 ③ 制度パンフレットの配布 ④ 会員情報誌「さばさば」(年5回)、利用ガイドブック「さばガイド」(年1回)の発行 ⑤ ホームページを中心とした情報発信(お知らせ欄による変更内容周知、イベントカレンダーと申込フォームによる事業参加者募集など)

【資料請求・企業紹介実績】

(単位：件)

区分		令和4年度	令和3年度	対前年増△減
資料請求	請求件数	641	868	△227
	加入実績	269	221	48
企業紹介	紹介件数	87	83	4
	加入実績	62	56	6

※加入実績には過年度の資料請求、企業紹介を含む

(5) その他【基幹系システムの開発について】

会員情報の管理や利用券の発行等に使用している基幹系システムについて、導入から約40年が経過していることから、会員サービス向上及び業務効率化を図るべく、令和4年度は仕様を検討し、業者選定の際に使用する仕様書や要件定義書等の各種資料を策定した。

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
調査・計画策定	仕様検討・策定	業者選定・システム開発		システム稼働

4 会 議

(1) 理事会

ア 第1回 定時理事会(令和4年6月6日)

- 開催場所 ニューオータニイン札幌
決議事項 1 令和3年度事業報告及び決算の承認
2 業務方法書の一部改正
3 加入等に関する規程の一部改正
4 令和4年度定時評議員会の招集

イ 第1回 臨時理事会(令和4年6月21日)

- 開催方法 決議の省略
決議事項 常務理事(業務執行理事)の選定

ウ 第2回 臨時理事会(令和4年7月13日)

- 開催方法 決議の省略
決議事項 令和4年度第1回臨時評議員会の招集

エ 第2回 定時理事会(令和5年3月1日)

- 開催場所 ニューオータニイン札幌
決議事項 1 令和5年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)
2 役員等賠償責任保険の加入
3 令和4年度第2回臨時評議員会の招集

(2) 評議員会

ア 定時評議員会(令和4年6月21日)

- 開催場所 ニューオータニイン札幌
決議事項 理事の選任
報告事項 令和3年度事業報告及び決算

イ 第1回 臨時評議員会(令和4年7月27日)

- 開催方法 決議の省略
決議事項 評議員の選任

ウ 第2回 臨時評議員会(令和5年3月16日)

- 開催場所 ニューオータニイン札幌
決議事項 令和5年度事業計画書及び収支予算書の承認
報告事項 1 令和4年度の事業執行状況
2 役員等賠償責任保険の加入

令和4年度事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告は事業報告書に記載のとおりであり、事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。

